

# 渋川市こども発達相談室ニュース 2023年3月号

～花粉の飛散量が大変なことになっています、ああ恐ろしい～

## 2022年度もありがとうございました。

渋川市こども発達相談室が開設してから今年で丸3年が経とうとしています。皆さまと共に歩んだ3年を、今回は相談内容を元に考えて行きたいと思えます。

### <当相談室での相談内容 TOP 5 >

- ① 発達（言葉、運動、学習含む）
- ② 不登校
- ③ 就学
- ④ 福祉サービス（児童発達支援・放課後等デイサービス）
- ⑤ 園・学校



①発達（言語、運動、学習含む）については断トツの相談件数です。そのための相談室なので当然ですが、保護者の方のお話をお伺いしながら私たちは必要な限り発達検査を勧めて、お子さんの特徴を知った上でどんな支援が有効かをご提案できるよう日々尽力しています。

②不登校については意外にも件数が大きく、全国22万人超えと言われ「社会現象」と言っても最早過言ではありません。不登校の理由は様々ですし、今現在そのお子さんの不登校の理由がはっきりしていることは珍しく、ほとんどのお子さんご自身が不登校になった理由を説明出来る術がありません。ひとつの理由と言うよりは複合的に色々と重なってしまい、こじらせているケースがほとんどかもしれません。

③就学について、2学期になってから一気に就学時健診に向けて動き出すのですが、実際には1学期の年長さんのうちに必要なお子さんには発達検査をお勧めしています。お子さんに合った就学先を選べるように、保護者の方のお気持ちに寄り添いながらゆっくり進めていくのが理想です。出来れば1学期から夏休みのうちに各学校へ見学に行かれると良いのですが、後で焦らなくて済むよう早め早めを意識していただけるとスムーズです。

④福祉サービス（児童発達支援・放課後等デイサービス）について、既に保健センターでの乳幼児健診や、通っている園の先生から療育を勧められることが多いかもしれません。現在、渋川市内近辺にある療育施設が定員いっぱいになかなか利用しづらい状況となっています。既存の施設長さん、2号店3号店を市内に作ってください、市内にもっと療育施設ができることを願って止みません。

⑤園・学校について、園では比較的先生方が上手に関わって下さっていてお友達とのトラブルにもすぐに対応されている印象があります。しかし就学後は「評価」という視点が強くなるためか、発達特性が目立つお子さんには学校が徐々に居心地の悪い場所になっていくような気がします。実際に不登校のお子さんの中には発達特性のあるお子さんも多い傾向にもあります。当相談室では学校と連携しながらお子さんが安心していられる居場所を作れるように働きかけていきます。

### <ジレンマ>

本来は発達特性のある子も目立たない子も一緒に過ごせる社会が理想です。国はインクルーシブ教育に舵を切っていますが実際に普及するまでには相当の時間が掛かります。本当は同じ学校・教室で一緒に過ごしてほしいのに、私たちは検査を勧め、個別の支援を受けるように促しています。何故なら、いわゆる「普通」の教室の先生方もお友達もその保護者の方々も、社会全体がまだまだ準備が出来ていないからです。このことを諦めてしまうのではなく、私たちはこれからも考え、発信し続けていきます。